

一般質問



市民の笑顔を求めて！



会派 Kiku ● 森 すなお 議員

**皆が利用できる
ごみステーション**

問 「ごみステーション負担金月額三千円」「自治会員以外の利用禁止」との事例がありますが、市民が公平・平等に気持ちよく利用するため、標準ルールを定め、早急に対応し改善すべきでは。

答 「標準的なルール」を早期に作成し、市が積極的に関わり、ごみステーションの使用につながるよう努めます。

**公共交通専門部署
設置を求める**

問 まちづくり協議会等の公共交通への取り組みに対する評価は。

答 水戸学区の「みーぽ号」は地域輸送の補完的役割や高齢者などの生活機能の維持に寄与しています。

問 みーぽ号の取り組みの今後の展開は。

答 支援の在り方やモデル事業化など含め検討していきます。

問 市民の声に応える公共交通を実現するためには組織改革に取り組むべきでは。

答 施策展開が可能な組織体制を構築し課題解決の実現に努めます。

**民生委員・児童委員の
職務環境・処遇改善**

問 民生委員・児童委員の皆様は、本来の職務以外にも多くの役割を担っているため職務環境に配慮すべきでは。

答 業務の見直しは必要ですので、活動しやすい環境づくりを検討します。

問 民生委員・児童委員の皆様の待遇や処遇についての見解は。

答 民生委員の皆様の意見を聞き、職務整備と合わせ、活動費の増額も含め、活動しやすい環境を整えていけるよう検討します。

コミバス・移動手段の課題と構想について



会派 Kiku ● 永田 誠治 議員

市民の移動手段コミバスの課題と構想

問 今後の課題について、運転手不足解消のために普通免許で乗れる小回りの利く小型乗り合いバスにしては。

答 需要の少ない地域や路線を対象に、小型車両を活用し需要に応じた予約型の運行を検討してまいります。

問 今後の構想について、将来に備えボランティアサポーター組織を立ち上げては。

答 地域で行われている移動支援活動や民間事業者等との連携を図りながら、多様な担い手の参画を促し、持続可能な地域交通の仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

市内各43区の活動組織の今後のあり方

問 区長および民生委員の今後について、コ

ロナ禍で様変わりした活動組織のあり方を新しく変化（進化）するチャンスではないか。

答 区長の業務負担の軽減をデジタル活用による業務簡素化などで、段階的に改善できるよう検討してまいります。

民生委員は地域で最も身近な支援者で重要な存在です。サポーターの活用や育成を本来に連携したりする組織や体制も一つの手段として考えられます。

問 小中学校のPTAの今後のあり方について、解散などで児童生徒に不利益や教職員の負担増にならないか。

答 保護者の負担軽減を目的とし、PTA組織の改革により児童生徒、教職員の負担増にならないよう段階的に改善を進めていると承知しております。